

生駒市

「家庭教育に関するアンケート」

調査結果の概要

平成29年9月

「家庭教育に関するアンケート」調査概要

1. 目的

「家庭教育に関するアンケート」の調査結果の分析により得られた本市の課題や特性を踏まえ、今後の支援策を検討していくための基礎資料として活用する。

2. アンケート調査の概要

(1) 実施時期

平成29年5月中旬～5月末まで

(2) 対象者

小・中学校、幼稚園、保育園、こども園に通学・通園する子どもを持つ保護者
(校園別に学年、年齢を割り振り、その対象となる子どもの保護者にご協力
いただいた。)

(3) 配布・回収状況

配布数：4,987人(各校・園を通じて配布)

回収数：3,598人(各校・園でとりまとめ、市で回収)

回収率：72.1%

(4) アンケートの内容

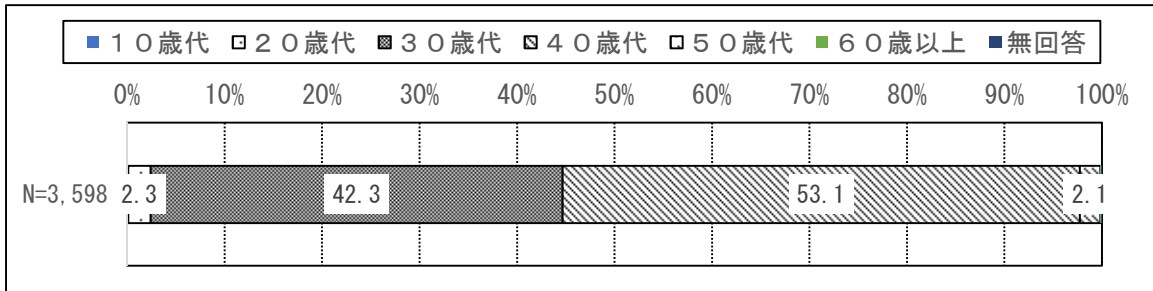
アンケートの様式を末尾に添付。

I 調査結果概要

1. 各設問の回答結果について

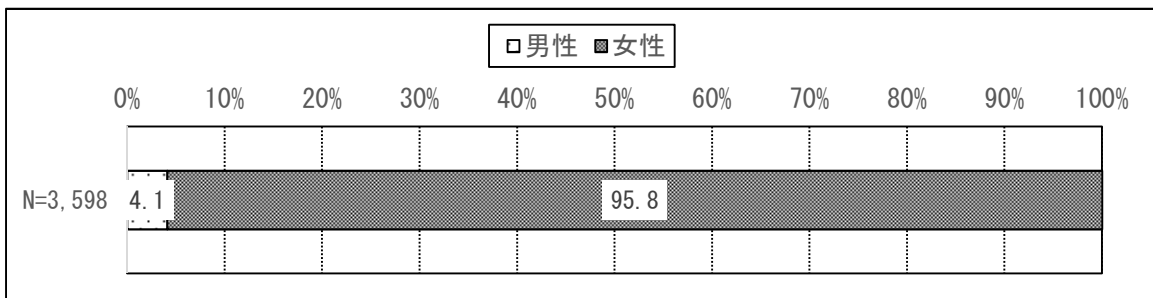
問1 平成29年4月1日現在、あなたの年代をお教えてください。

- 「30歳代」「40歳代」が95%以上を占めている。
- 平均年齢は40.5歳と推計される。



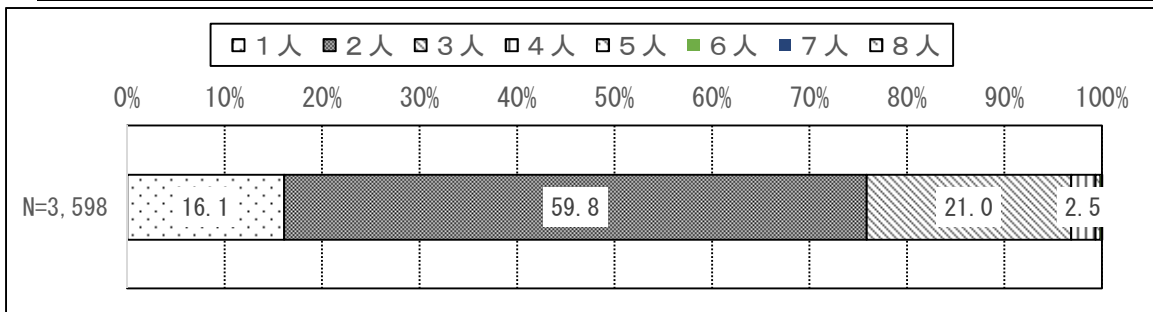
問2 あなたの性別をお教えてください。

- 回答者は「女性」が95%以上を占めている。



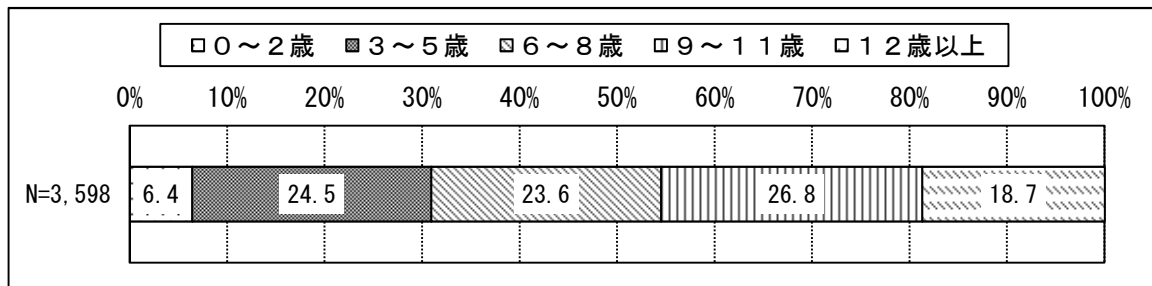
問3 あなたは、お子様を何人お持ちですか。

- 「2人」が59.8%を占めており、「3人」21.0%、「1人」16.1%の順。
- 平均値は2.1人と算出される。



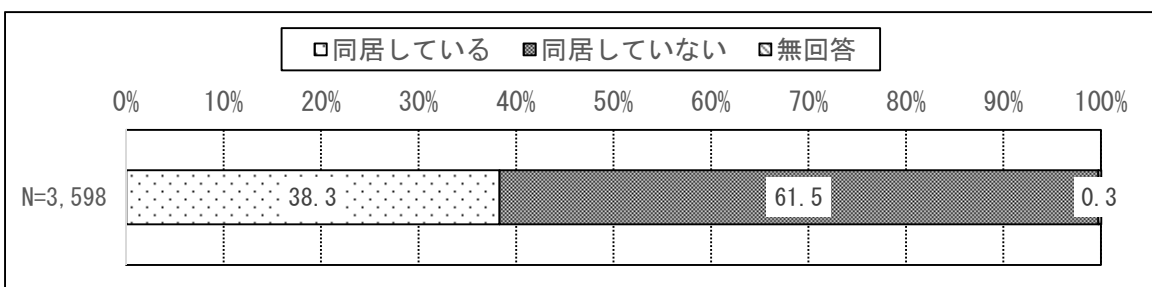
問4 このアンケートをお持ちになったお子様は、平成29年4月1日現在おいくつですか。

- 「9～11歳」26.8%、「3～5歳」24.5%、「6～8歳」23.6%でありほぼ均等。
- 平均年齢は7.8歳。



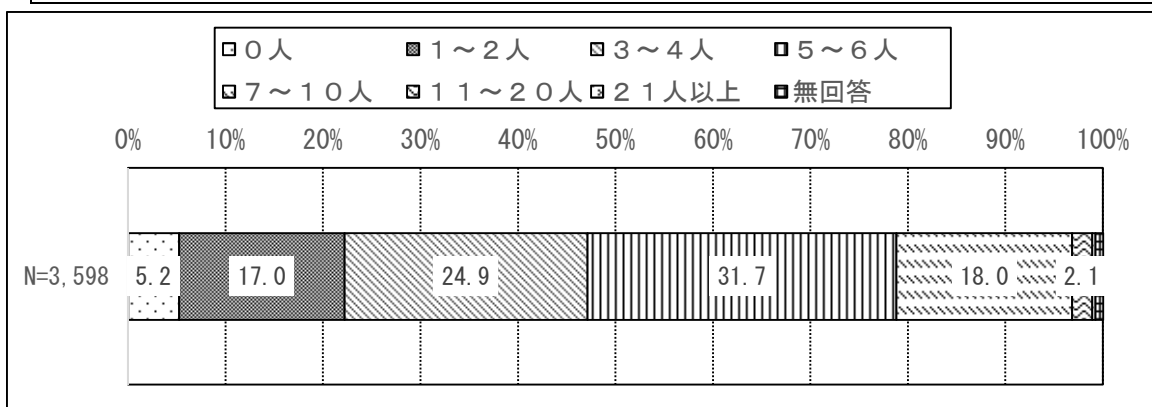
問5 あなたは、ご自身あるいは配偶者（パートナー）の親や親戚（子育てを手伝ってくれる方）と同居していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 「同居していない」が60%を超えている。



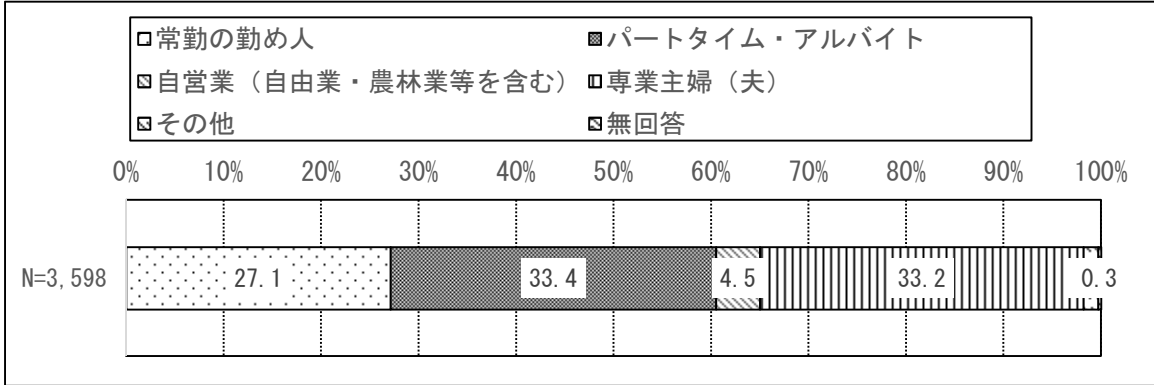
問6 あなたは、子育てに関して気軽に相談できる友人・知人（親戚を除く）を何人くらいお持ちですか。

- 「3～4人」「5～6人」が50%超を占めている。平均値は4.9人。



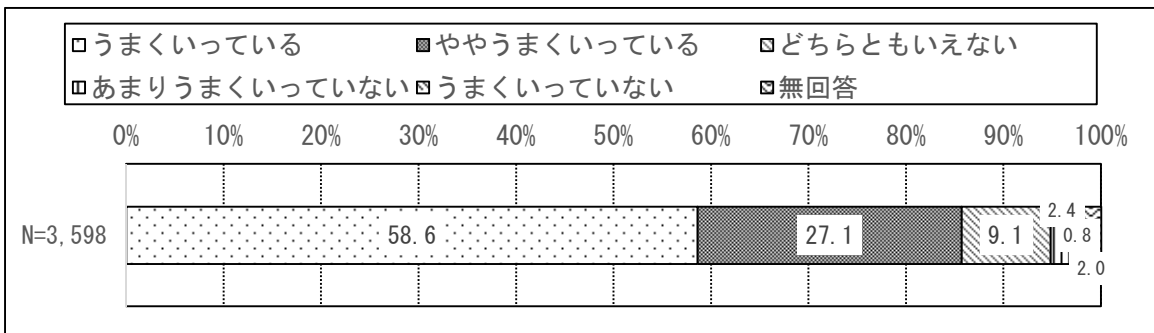
問7 あなたの現在のご職業は、次のいずれかに該当しますか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

●「専業主婦（夫）」「パートタイム・アルバイト」が各3分の1。「常勤の勤め人」が27.1%。



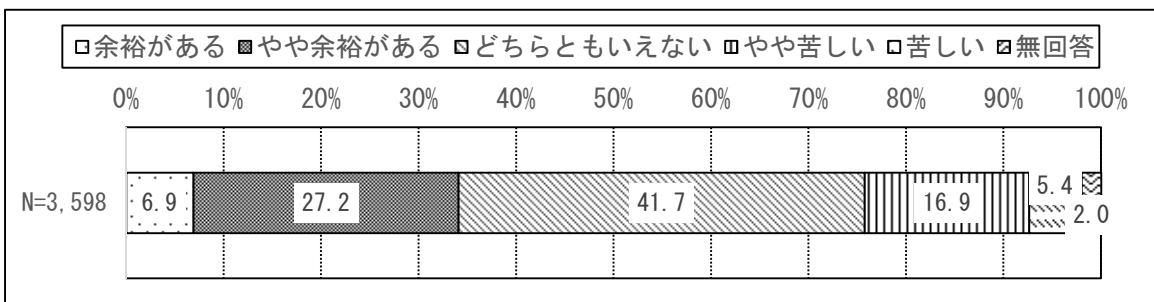
問8 差し支えなければ、現在、あなたのご家庭の様子をお聞かせ下さい。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

●「うまくいっている」が60%近い。「ややうまくいっている」を含めると、85%超。



問9 差し支えなければ、現在、あなたのご家庭の経済状態をお聞かせ下さい。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

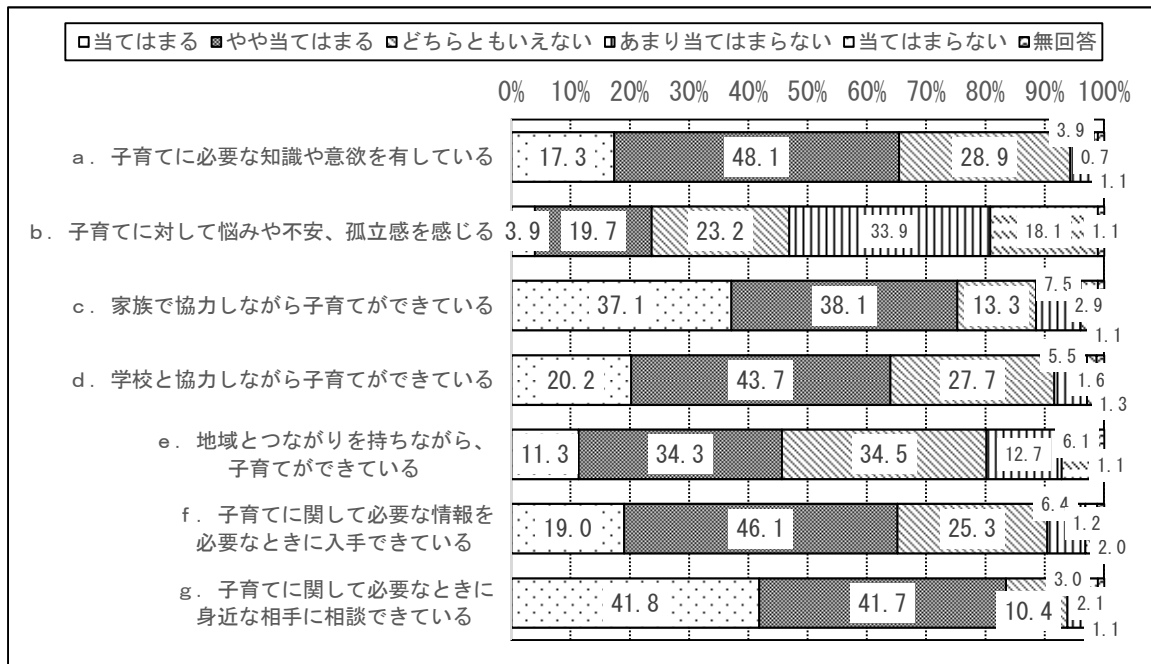
●「どちらともいえない」41.7%、「やや余裕がある」27.2%の順。
●「余裕がある」「やや余裕がある」の合計値は「やや苦しい」「苦しい」の合計値より高くなる。



問10 あなたは、以下のような項目についてどの程度当てはまると感じますか。a～gそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 「a. 知識や意欲」「c. 家族での協力」「f. 情報の入手」といった自らの努力や取組、「学校との協力」「身近な相談相手」といった近くの存在との連携に関する評価は概ね高い。
- 「悩みや孤立感」についても否定的な回答が半数超であり、概ね評価は高い。
- 「地域とのつながり」の評価はやや低い。

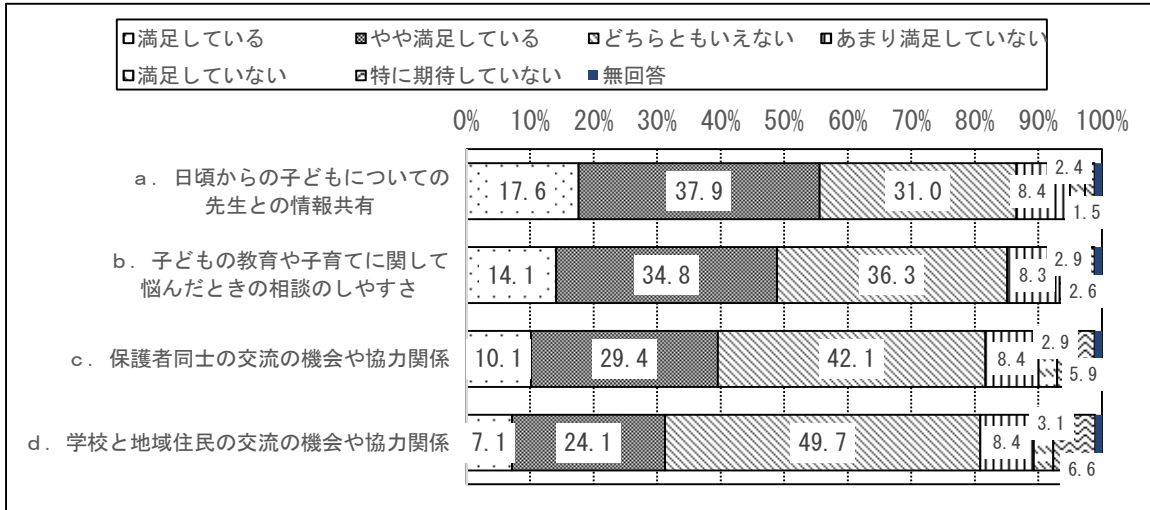
N=3,598



問11 あなたは、(このアンケートを持参した) お子様を通う学校での以下のような項目に関して、どの程度満足していますか。a～dそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

●「先生との情報共有」の評価は高いが、「相談のしやすさ」「保護者同士の交流」「地域との交流」の評価は半数を下回っている。

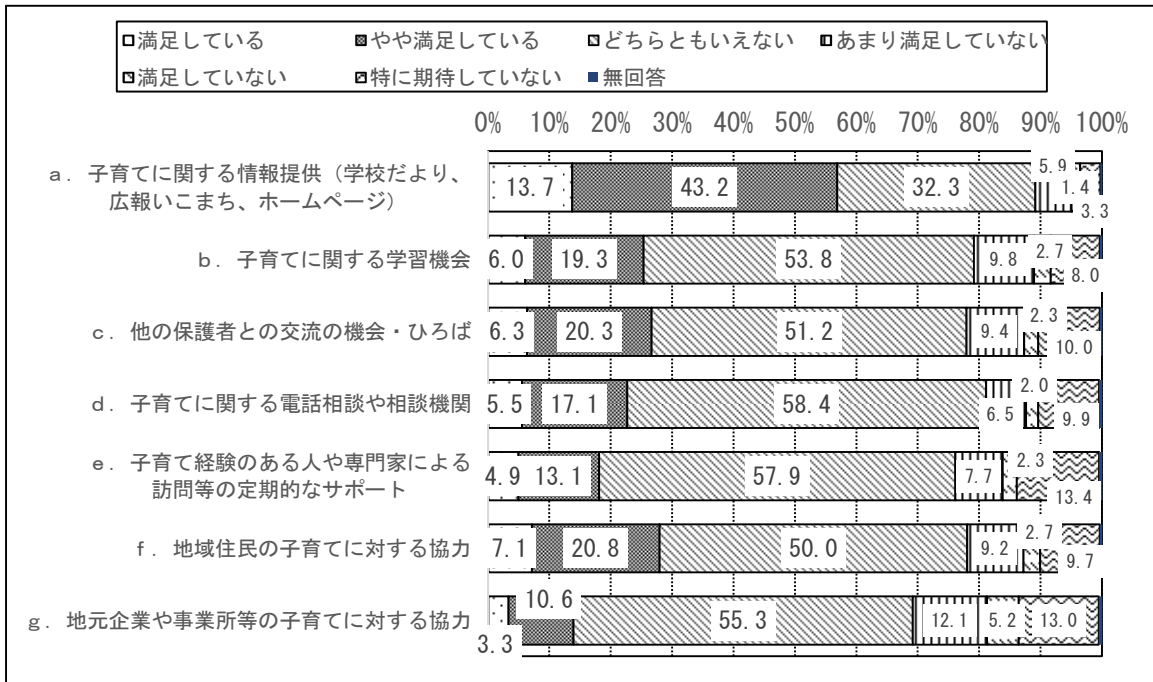
N=3, 598



問12 あなたは、子育てに関する地域のサポートに関して、どの程度満足していますか。a～gそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

●「子育てに関する情報提供」の評価は高いが、他の各項目は「どちらともいえない」が半数超。

N=3, 598

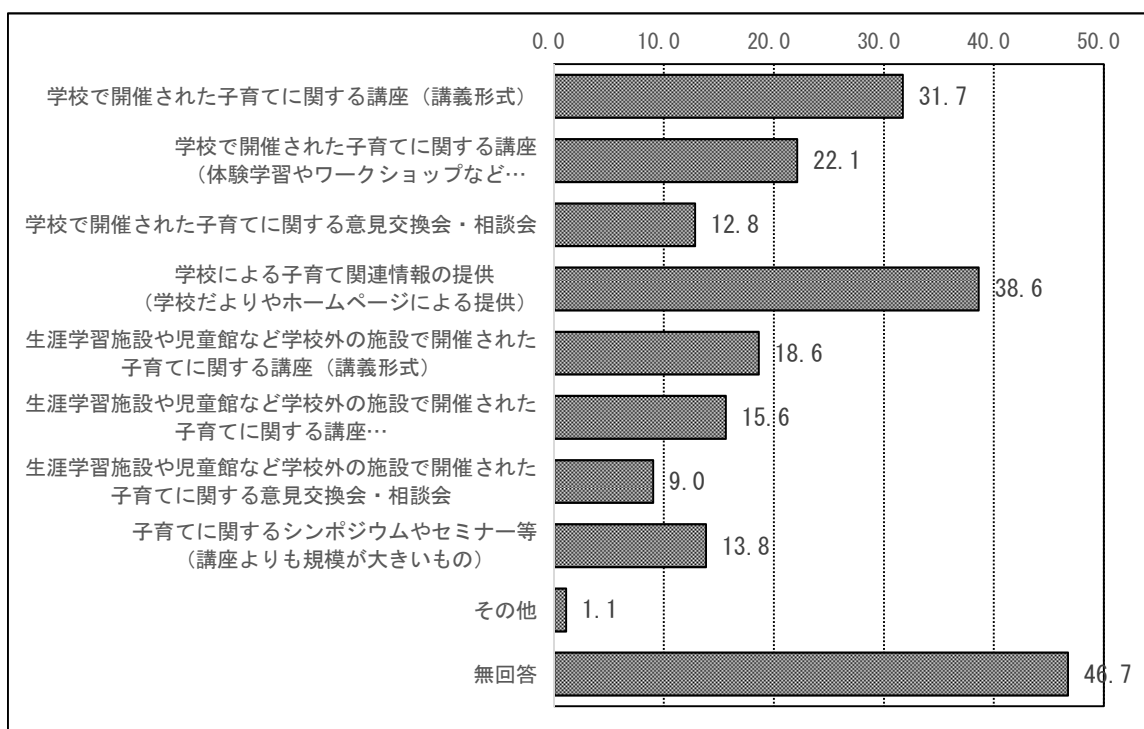


問13 あなたは、子育て支援に関する以下のような取組に参加したことがありますか。だいたい構いませんので、過去1年間に参加/活用した回数（一度もない場合は「0」）をご記入ください。（「4」については、活用の有無について、当てはまる番号1つに○をつけてください）

※各取組の認知度

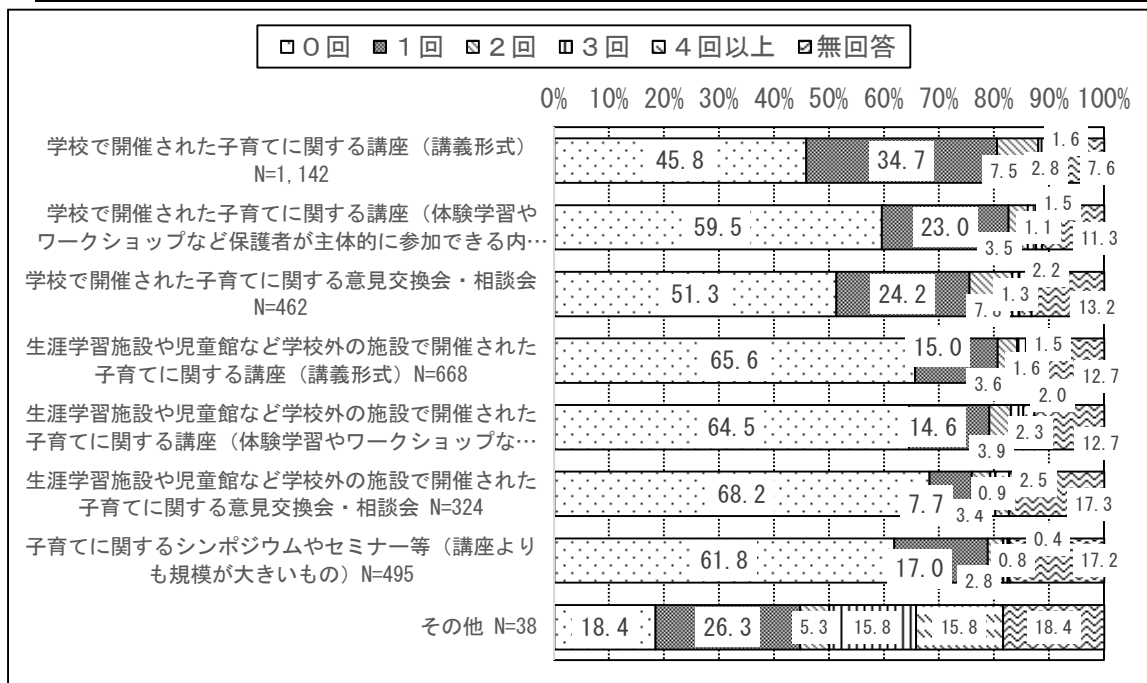
●「学校で開催された子育てに関する講座」「学校による子育て関連情報の提供」への認知度が高い。

N=3,598



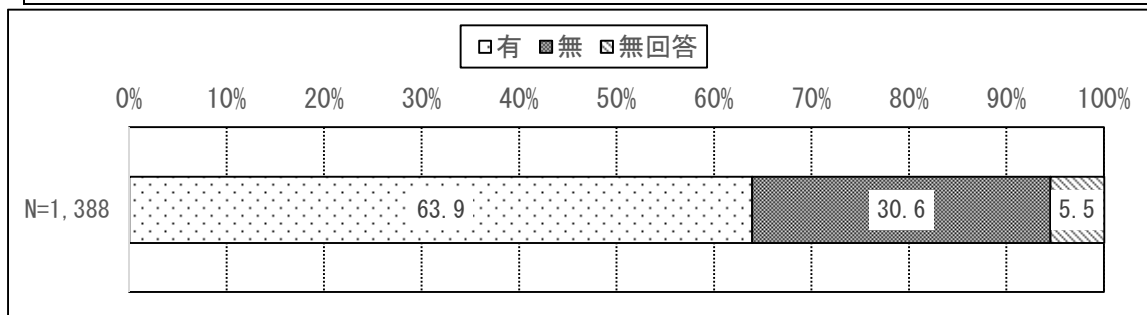
※過去1年間の参加／活用回数

- 各項目とも「0回」が目立つ。「学校で開催された子育てに関する講座（講義形式）」は「1回」が34.7%。
- 学校外の取組への不参加率が高い。



※「4. 学校による子育て関連情報の提供（学校だよりやホームページによる提供）の活用」の有無

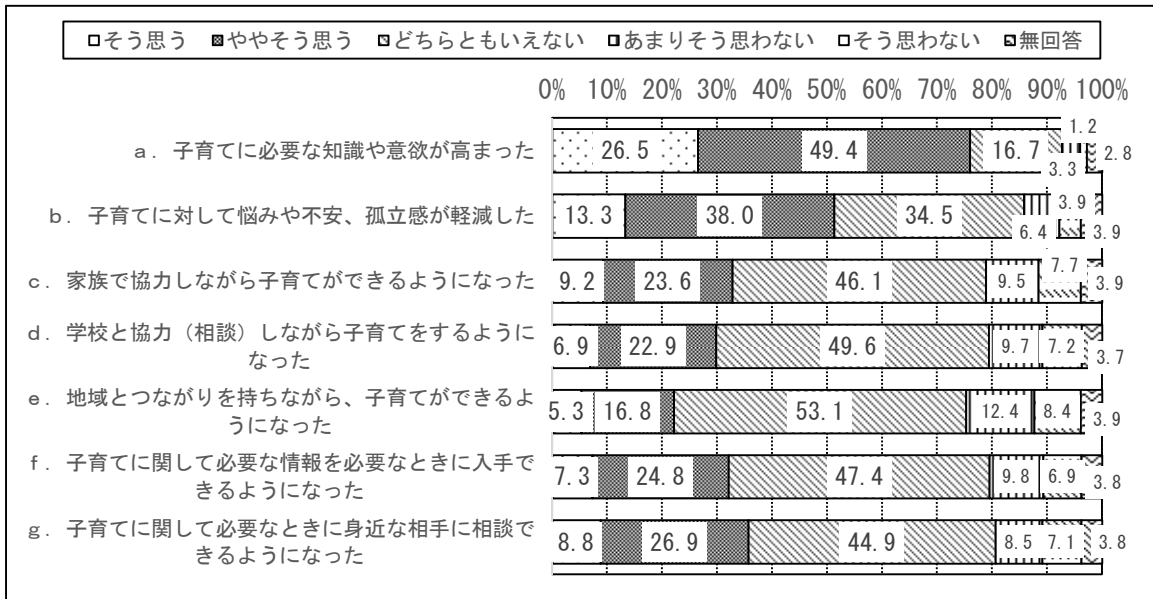
- 全体の3分の2近くが、参加／活用したことがあるとの回答である。



問14 問13で「1」～「3」または「5」～「7」いずれかの参加／活用回数が1回以上ある方のみにお聞きします。それらへの参加／活用を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。a～gそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 家庭における効果に対する評価は「知識や意欲の向上」「悩みや孤立感の軽減」で高いが、他の項目では3割前後にとどまっている。
- 「地域とのつながり」に関しては他の項目に比べて効果に対する評価が低い。

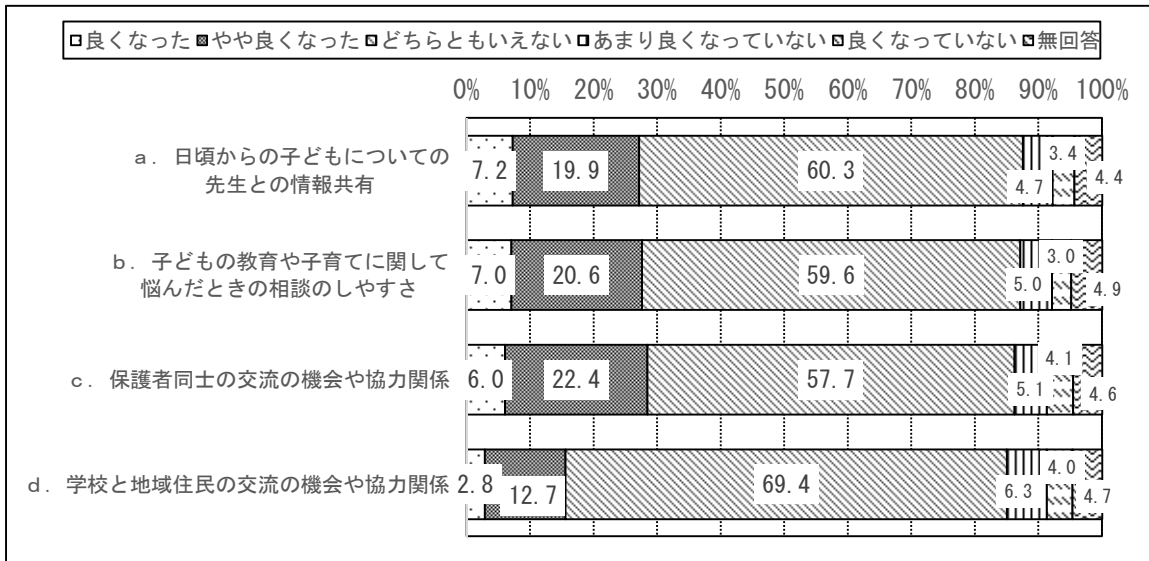
N=844



問15 問13で「1」～「3」または「5」～「7」いずれかの参加／活用回数が1回以上ある方のみにお聞きします。それらへの参加／活用を通じて、お子様が通う学校について、以下のような項目にどのような変化がありましたか。a～dそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 「先生との情報共有」「相談のしやすさ」および「保護者同士の交流」については、いずれも肯定的な評価は30%弱にとどまっている。
- 「地域住民との交流」については、さらに評価が低い目。

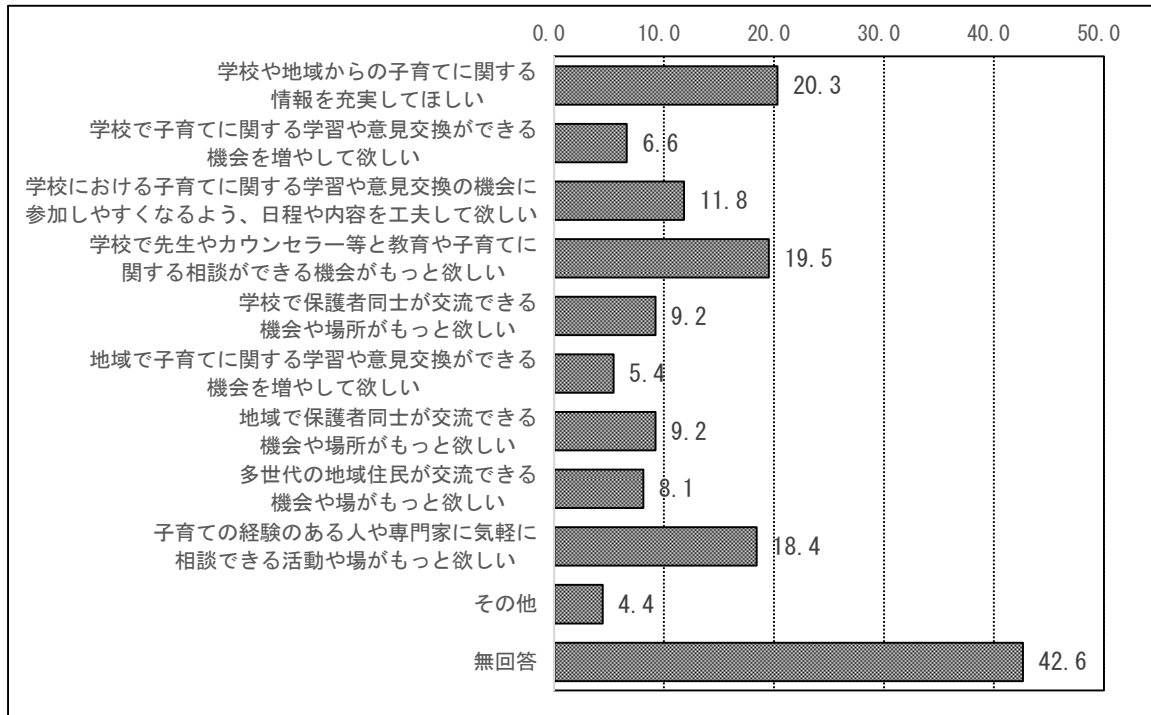
N=844



問16 あなたの学校や地域の子育てサポートの取組について、要望はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

●「子育てに関する情報の充実」「学校で相談できる機会がもっと欲しい」および「気軽に相談できる活動や場がもっと欲しい」の3項目が高い。

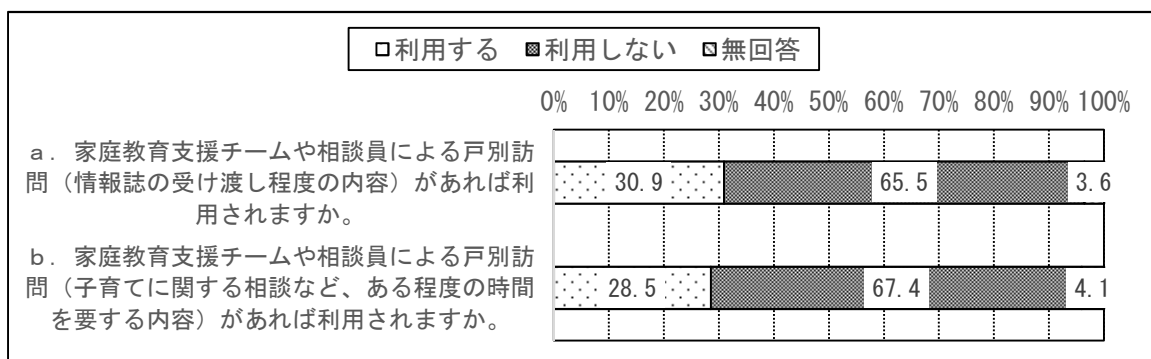
N=3,598



問17 今後、本市では「家庭教育支援チーム」の設置について検討しています。同チームの設置についてお聞きします。当てはまる番号1つに○をつけてください。

●「情報誌の受け渡し程度」「子育てに関する相談など」とも「利用する」との回答割合が全体の3割前後である。

N=3,598



問18 その他、学校や地域の子育てサポートに関して、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

《「家庭教育支援」に関連する主な意見》

【情報発信・情報共有について】

- 私は割と自分ひとりで悩むタイプではなく、知らない事、困った事、どんどん周囲に聞けるので特に子育てサポートを必要としないと回答しましたが、なかなか発信できないお母さんもたくさんいらっしゃると思いますので、生駒市の方でどんどん分かりやすく発信して頂けたら子育てする母としてとても心強いです。
- 他市より生駒市に転居してきましたが、子育てサポートセンターやサークル、イベントの探し方など案内がなく、こちらから聞かないと教えてもらえず不安でした。市役所まで行かなくても自治会館などで、もっと手軽に情報をとれるようにしてほしい。子育て支援に力を入れているという割にはいまいちだな…。以前住んでいた所のほうが充実していたように思い、残念でした。
- 転入してきたばかりであり情報がありません。市役所も遠く、なかなか足を運べません。幼稚園からもらってくる情報が全てです。
- 学校や幼稚園、保育園等に行っていない（所属していない）子どもとその保育者（保護者）との定期的な面談やサポートを行う。学校や子育て関係機関との情報共有。

【相談事業について】

- 気軽に相談できる場所があればいいなと思います。友人にではなく専門的な方に相談したい時もあるので。予約制とかではなく気軽に相談できた方が良いです。
- 今は自分が、そんなに子育てに対して問題がないので、サポートの必要性を感じていないが、支援機関があるのは心強いと思います。まずは電話で相談できるような所があればよいと思っています。
- 仕事をしているので、相談できる機会が日曜日や祝日にあればいいなと思います。
- 子育てに関するちょっとした悩みを専門知識もあり経験もある方に気軽に相談できるような窓口があればいいなと思います。例えばトイレトレーニングなど行き詰った時に経験のある保育士さんに相談できる窓口。幼稚園の先生は専門家であるかもしれないけれど、若くて、自分の子育て経験がなかったりする。例えばアスペルガーや発達障がいを疑ったとき、病院に行く前に相談できる窓口。学校の先生は昼間は相談できないし、放課後は自分の子どもの目が気になる。
- 素人の経験者は不要です。専門家のみ必要です。理由：経験上で感じたことのみ基準になり、個人の意見を押しつける傾向があるため。

【市主催事業の開催日について】

- イベントや講座など平日開催が多いので仕事をしていたら参加できない。

- 市の行事は土日開催がほぼないため、土日でも利用できるようにしてほしいです。
- 親子で参加できるイベントが平日だと共働きの場合参加が難しい。
- 夫にも参加してもらいたいのので土日にも開催してほしい。
- 共働きのため土日でも対応してもらえるサポートをお願いしたいです。
- 利用したいが働いているため、平日日中は不在にしている事が多いので考慮していただきたい。

【各事業への参加について】

- 小さい子連れでは参加できないイベント等も多く、託児を導入してほしい。
- 学校行事や幼稚園の用事などの際に下の子どもを連れて行くのが難しい場合があります。特に音楽発表会などでは迷惑がかかると思い、上の子の演奏をしっかり聴くことができません。そういった悩みを抱えている方は多いかと思えます。様々な場面で保育士さんなどによる託児（有料でも）が必要だと思えます。それがない限り、色々な学びや相談の場への参加も難しいと思えます。
- イベントや講座に申し込んでも、定員人数がいっぱいになって参加できない場合が多い。講座の回数を増やすなり、参加の経験がない人を優先にする等、希望の多い講座やイベントはした方がよいと思えます。
- 夏休み等にある例えば料理教室など募集の人数が少ないので、参加しようと思うけど、応募の段階で躊躇してしまいます。生駒は他市に比べて子どもが多いと思うので、募集人数とか開催日をもう少し増やすとかしてくれたらもっと参加しやすいんじゃないかなと思えます。
- 子育て（未就園児等）のイベントや育児教室（保育園や幼稚園で親子参加型）の機会を増やしてほしい。
- 自然体験、親世代の方との昔遊びなど、家庭だけでは取り組みにくいものの講座が増えてきていて、うれしく思っています。

【地域内の交流について】

- 地域の子育て中の人と交流できる場を知らない人がたくさんいると思う。市の広報で市内の住民の交流について案内はあるが、現在住んでいる町内では児童館もないし、なかなか住民同士で交流する場がないので、身近な範囲でそういった場所があれば良いなと思った。
- 地域のみなさんの親切で助けていただくこともよくあり、感謝しています。
- 前は下校の時に立ってくれたり、声を掛けてくれるシニアの人を見かけていたが、今は見かけない。他学校はしてもらっているのうらやましく感じる。自分もなるべく途中まで迎えに行ったりしているが、他の兄弟の用事や仕事で下校に不安を感じるのそういうサポートがあればありがたい。
- 登下校の際に見守りをしているのはとても感謝しています！まだ地域に慣れていないので交流の場があればと思います！
- コミュニティ力が欠けている。子育てが終わった世代との交流や意見交換があれ

ば良いと思う。

【保護者同士の交流について】

- 不登校の子どもを持つ保護者同士の意見交換会が欲しいと思います。同じようなお子さんを持つ保護者の方々がどう過ごしているのか、子どもとどう接しているのか、皆不安なのではと思う。対、カウンセリングの先生と1対1の面談はあっても、保護者同士の交流はないように思う。
- 仕事があるのでなかなか保護者同士の交流や情報交換をする時間がない。
- 子どもが小さかったときに、気軽に子育て経験のある人に相談できたり、地域で同じ年代の子どもを持つ親同士の交流の場があれば、参加したいと思ったと思います。

【家庭教育支援チームについて】

- 家庭教育支援チームについて相談員による子育てや教育に関する相談が出来る機会が増えることは大変有り難いことですが、出来れば相談員が戸別訪問での形ではなく、市の建物などにこちらから赴いて相談させていただく形のほうが気軽に利用しやすいと思います。
- 戸別訪問ではなく相談したいことがある場合にこちらから出向いて相談しに行ける場所が欲しいです。電話による相談など。戸別訪問となると気軽ではなくなると思います。
- 戸別訪問には少し抵抗があります。戸別ではなく町別など集会所単位ぐらいにさせていただくと気軽に参加でき、地域住民の交流にもつながると思います。
- 相談に行っても子どもがうるさくしたりするので落ち着いてできないから戸別訪問してくれるとありがたい。
- 相談する人によって言う事や内容がちがったり…ということがないようであれば利用しても良いかなと思います。いわゆる育児書に書いてあること、本や雑誌にのっていること、それぞれの人の考え方を統一する事はむずかしいと思いますが、ある程度の共有化ができていれば…と思います。
- 相談できる人はいるけど同世代なのでより専門的なアドバイスを聞けたら嬉しい。家族で病気になった時は遠く頼れないのでつらい。そういう時にファミリーサポートや Asmama を利用したらいいのかなと思いつつ、申し込めていない。支援チームの人に来てもらって、詳しく聞けたらいいなと思う。
- 今のところ、特に困っていることもないので利用しませんが、育児について悩んだり困ったりしている人はたくさんいると思いますので、家庭教育支援チームは良いと思います。
- 「家庭教育支援」といっても具体的に想像がつかないですが、地域での子育ては連携が薄いかと感じているので人と人がつながるといった点から賛同します。
- なぜ支援チームが必要であるか原因と目的をはっきりしたうえで設置するべきではないでしょうか。

【その他】

- 他府県では「学校」と「保護者」の間に橋渡しとなる行政（コーディネーター）の存在がある所が多いのですが、生駒市では子育てに力を入れている割にはその部分が欠けており、全てが親主体親任せであると思います。
- 夏休みの幼稚園開放はととてもありがたいです。通常の土日でも幼稚園児が遊べる場所があればうれしいです（夫が仕事で不在がちなため、行く所が限られる）。幼稚園児と未就園児と一緒に遊べる場であれば、なおうれしいです。
- 親子での参加について、参加しないと孤立感などが怖い。働く親としては、参加する時間もない。
- 今の時代、ネット社会で色々な情報が見られる反面、どれが正しいか分からなくなる時があります。マンションですが高齢の方が多いい中、子供の泣き声や足音、奇声にすごく敏感になりつい怒ってしまったり、周りの目が怖い。孤独。子育てサポートや色々な取組があるのも「いこまち」を見て知っていますが、それで終わってしまう。出掛ける元気がない。子育て世代、みんな頑張っているのに自分が悩んでいるのがはずかしく思う。
- 私の近所はととても協力的でよい関係があります。それで子育ての悩みやストレスはととても少なくすんでいます。保育園での取りくみにも有り難く思っていますし、保育方針にも共感しています。来年から小学校に通います。小学校は人数も増え、学校との関係性はどうなるのかなと思っています。今はとても満足した子育てができています。
- 共働きの家庭が多く、学童にも行かず、放課後の居場所のない子どもが大変多いと感じます。子どもを地域の宝として、地域全体で育てる仕組みづくりをお願いしたいです。
- 親と子ども、親と先生、子どもと地域の方などの距離感が昔に比べるとずいぶん離れた距離感になっていると思います。教育という視点からももちろん大事ですが、各個人の距離感が縮まるようなコミュニティの形成が重要と思います。

II まとめ

1. 調査結果の要約

(1) 回答者属性

「30歳代」「40歳代」が大半を占めており、推定される平均年齢は40.5歳となる。性別は「女性」が大半を占めており、子どもの数は平均2.1人、平均年齢は7.8歳となる。

(2) 家庭の状況

自分または配偶者の親族と同居しない核家族世帯が60%以上を占めており、子どもの年齢層が高くなるほど、同居の比率が高くなる。

子育てに関する相談相手の人数は、平均4.9人であり、回答分布について、子どもの年齢層との関係性はみられない。

職業は「常勤の勤め人」「パートタイム・アルバイト」および「専業主婦（夫）」のいずれかが大半を占めており、子どもの年齢層が高いほど有職率は高くなる。

家庭内の様子は概ねうまくいっている世帯が大半であり、回答分布について、子どもの年齢層との関係性はみられない。

家庭の経済状態については、職業や子どもの年齢との関係性はみられないが、家庭の様子がうまくいっていないほど経済的には苦しいとの回答割合が高い。

(3) 家庭・学校・地域の現状に対する評価

① 自らの家庭に対する評価

全体的には、自らの家庭の取組に対する評価や、学校や身近な存在との連携については評価が高いものの、地域とのつながりについては評価がやや低い。

子どもの年齢別では、年齢層が低いほど評価が高い項目が多くみられる。

相談相手の人数別では、人数が多いほど評価が高く、孤立感も少ない。

家庭の様子がうまくいっている、また、経済状態に余裕があるほど評価が高い傾向がみられる。

② 学校に対する評価

全体的には、「先生との情報共有」の評価は高いものの、「保護者同士の交流」「地域との交流」については肯定的な評価が半数を下回っている。

子どもの年齢層が低い、相談相手の人数が多い、家庭の様子が良好、また、家庭の経済状態に余裕があるほど評価が高い傾向がみられる。

③ 地域のサポートに対する評価

全体的には、「子育てに関する情報提供」の評価が高いが、他の項目は「どちらともいえない」が半数を超えるなど、評価を保留する意見が多い。

子どもの年齢別では、年齢層が低いほど評価の高い項目が多くみられる。

相談相手の人数が多いほど総じて評価は高い。

家庭の様子が良好なほど、また、経済状態が良好なほど評価が高い結果が得られている。

(4) 子育て支援に関する取組への参加／活用

① 認知度

全体的には、「学校による子育て関連情報の提供」「学校で開催された子育てに関する講座」の認知度が比較的高いものの、無回答が回答者の半数近くを占めるなど、それぞれの取組の認知度は低い。

概ねいずれの取組についても子どもの年齢が高いほど、また、相談相手の人数が多いほど認知度は高い。

一方で、職業、家庭の様子、家庭の経済状態による大きな差異はみられない。

② 過去1年間の参加／活用回数

全体的にいずれの取組についても参加／活用の回数は少ない。

子どもの年齢別には、「0～2歳」の保護者の参加／活用が比較的高く、相談相手の人数、職業、家庭の様子および経済状態による大きな差異はみられない。

③ 「学校による子育て関連情報の提供の活用」の経験の有無

全体的には、参加／活用経験が有るとした回答が3分の2を占めている。

子どもの年齢別には、年齢層が低いほど活用の経験があるが、相談相手の人数、職業、家庭の様子および経済状態による大きな差異はみられない。

④ 家庭における効果に対する評価

全体的には、「知識や意欲の向上」「悩みや孤立感の軽減」で評価が高いものの、他の項目では肯定的な評価は3割程度にとどまっている。

子どもの年齢層が低いほど評価が高い項目が多く、相談相手の人数が「0人」よりも1人以上の方が効果は高い。また、家庭の様子が良好なほど、また、経済状態に余裕があるほど評価は高い。職業による大きな差異はみられない。

⑤ 学校における効果に対する評価

全体的に、いずれの項目についても肯定的な評価が3割を下回っており、「地域住民との交流」の評価はさらに低い結果となっている。

子どもの年齢層が低いほど比較的评价が高い項目が多く、相談相手の人数が多いほど評価は高い。職業別の傾向はみられないが、家庭の様子が良好なほど、また経済状態に余裕があるほど評価は高い。

(5) 学校や地域の子育てサポートの取組への要望

全体的には、「子育てに関する情報の充実」「学校で相談できる機会」「経験者や専門

家に気軽に相談できる活動や場」に対する要望が比較的高い一方、無回答が全体の4割強を占めている。

子どもの年齢別では、概ねいずれの項目においても年齢層が低い保護者ほど要望が高い。

相談相手の人数別では、人数が多いほど要望の高い項目もみられる。

家庭内の様子が良好ではない家庭、経済状態が苦しい家庭では、カウンセラーや専門家への相談の機会や場に対する要望が比較的多い。

「学校による子育て関連情報の提供」を利用した経験があるほどいずれの項目についても要望が高い傾向がみられる。

(6) 生駒市「家庭教育支援チーム」の利用の意向

全体的には、いずれの形態についても「利用する」との回答は3割前後であるが、「子育てに対して悩みや不安、孤立感を感じる」についての肯定的な回答割合(23.6%)を上回るなど、利用のニーズは決して低いとは言えない。

子どもの年齢別では、年齢層が低い保護者ほど利用の意向が高い。

また、相談相手の人数が少ない、家庭の様子がうまくいっていないほど利用の意向が高くなる傾向がある。職業および経済状態と利用の意向の相関はあまりみられない。

2. 属性や家庭の状況別の回答の傾向

①子どもの年齢別

自らの家庭の取組、効果に対する評価については、全体的に0歳から5歳までの年齢層の子どもの保護者の評価が高く、年齢が上がるごとに評価がやや低くなる傾向にある。

学校園の取組や効果に対する評価についても、全体的に0歳から5歳まで、とりわけ0歳から2歳までの年齢層の子どもの保護者の評価が高くなっており、年齢が上がるごとに評価が低くなる傾向がみられる。

一方で、地域とのつながりや交流といった面では、地域との関わりが増える小学生の子どもを持つ保護者の評価が高くなる一面がみられる。

②相談相手の人数別

ほとんどの項目において「相談相手となる人数」が多いほど、評価が高くなっている。

逆に、相談相手となる人数が0人と回答した層は、ほとんどの項目において評価が特に低いうえに、学校や地域の取組等に対して「期待していない」との回答割合が多く、そもそも価値自体が感じられにくくなっているなど、地域の中で孤立化している状況が垣間見える。

③職業別

一部の項目においては、自営業等や専業主婦(夫)層の評価がやや高いものの、職業別での大きな差異はみられなかった。

ただし、「常勤の勤め人」の層においては、地域や他の保護者との交流といった項目に

ついて評価が低く、また講座やイベント等の日程面の配慮についての強い要望が感じられる。

④家庭の様子別

ほとんどの項目において、家庭の様子がうまくいっているほど評価が高いなど、強い相関関係がみられる。

ただ、サポートについての要望や参加（利用）度合については、うまくいっていない層も高い関心を示す回答が比較的多くみられるなど、現状をなんとかしたいとの意識がうかがえる。

⑤家庭の経済状態別

ほとんどの項目において、「余裕がある」との回答者の層は評価が高く、「苦しい」との回答者の層は評価が低い傾向がある。

3. 国のアンケート結果との比較による生駒市の傾向

本アンケートと同じ質問内容のアンケートを平成 23 年に国（文部科学省）が実施しており、以下は、その集計結果の比較から見える本市の回答の傾向を示したものである。（個別質問項目ごとの比較については別冊のとおり）

- ・「家庭の経済状態」に余裕がある世帯の割合及び「家庭に対する評価」についての肯定的な回答は、ほとんどの項目で国の結果を上回っているが、「地域とのつながり」の項目のみ、国の結果を下回っている。
- ・「学校に対する評価」についても、「先生との情報共有」や「相談のしやすさ」では国の結果を上回っている一方、「保護者同士の交流・協力」、「地域住民との交流・協力」の項目において、国の結果をやや下回る状況であり、「交流・つながり」という面での弱さがみられる。
- ・「地域のサポートに対する評価」においては、「子育てに関する情報提供」について大幅に国の結果を上回り、他の項目においても国の結果と比較して肯定的な回答が多い。
- ・「子育て支援に関する取組に対する認知度」については、国の結果よりもいずれも低くなっている。（参加度も低い）
- ・これらの取組に参加した回答者の効果に対する評価についても、一部を除いて国の結果より低く、取組に対して満足していない一面がうかがえる。

家庭教育に関するアンケート

●保護者向け

本アンケートは、ご家庭の子育てに対するお考え等を把握し、サポートするためのより良い手段を検討するために実施しています。ご回答内容は、すべて統計的に処理するため、学校名や、どなたがどのような回答をされたかがわかるようなことは一切ございません。お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、質問の中に記載されている「学校」には、「こども園」「幼稚園」「保育園」も含まれます。

問1 平成29年4月1日現在、あなたの年代をお教えてください。

1. 「10代」 2. 「20代」 3. 「30代」 4. 「40代」 5. 「50代」 6. 「60代以上」

問2 あなたの性別をお教えてください。

1. 男性 2. 女性

問3 あなたは、お子様を何人お持ちですか。

_____ 人

問4 このアンケートをお持ちになったお子様は、平成29年4月1日現在おいくつですか。

_____ 歳

問5 あなたは、ご自身あるいは配偶者（パートナー）の親や親戚（子育てを手伝ってくれる方）と同居していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 同居している 2. 同居していない

問6 あなたは、子育てに関して気軽に相談できる友人・知人（親戚を除く）を何人くらいお持ちですか。

_____ 人

問7 あなたの現在のご職業は、次のいずれかに該当しますか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 常勤の勤め人 2. パートタイム・アルバイト 3. 自営業（自由業・農林業等を含む） 4. 専業主婦（夫）
5. その他（ ）

問8 差し支えなければ、現在、あなたのご家庭の様子をお聞かせ下さい。

もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. うまくいっている 2. ややうまくいっている 3. どちらともいえない 4. あまりうまくいっていない
5. うまくいっていない

問9 差し支えなければ、現在、あなたのご家庭の経済状態をお聞かせ下さい。

もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 余裕がある 2. やや余裕がある 3. どちらともいえない 4. やや苦しい 5. 苦しい

問10 あなたは、以下のような項目についてどの程度当てはまると思いますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

	1. 当てはまる	2. やや当てはまる	3. どちらともいえない	4. あまり当てはまらない	5. 当てはまらない
a. 子育てに必要な知識や意欲を有している	1	2	3	4	5
b. 子育てに対して悩みや不安、孤立感を感じる	1	2	3	4	5
c. 家族で協力しながら子育てができています	1	2	3	4	5
d. 学校と協力しながら子育てができています	1	2	3	4	5
e. 地域とつながりを持ちながら、子育てができています	1	2	3	4	5
f. 子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できている	1	2	3	4	5
g. 子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できている	1	2	3	4	5

問11 あなたは、（このアンケートを持参した）お子様が通う学校での以下のような項目に関して、どの程度満足していますか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

	1. 満足している	2. やや満足している	3. どちらともいえない	4. あまり満足していない	5. 満足していない	6. 特に期待していない
a. 日頃からの子どもについての先生との情報共有	1	2	3	4	5	6
b. 子どもの教育や子育てに関して悩んだときの相談のしやすさ	1	2	3	4	5	6
c. 保護者同士の交流の機会や協力関係	1	2	3	4	5	6
d. 学校と地域住民の交流の機会や協力関係	1	2	3	4	5	6

問12 あなたは、子育てに関する地域のサポートに関して、どの程度満足していますか。

a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

	1. 満足している	2. やや満足している	3. どちらともいえない	4. あまり満足していない	5. 満足していない	6. 特に期待していない
a. 子育てに関する情報提供（学校だより、広報いこまち、ホームページ）	1	2	3	4	5	6
b. 子育てに関する学習機会	1	2	3	4	5	6
c. 他の保護者との交流の機会・ひろば	1	2	3	4	5	6
d. 子育てに関する電話相談や相談機関	1	2	3	4	5	6
e. 子育て経験のある人や専門家による訪問等の定期的なサポート	1	2	3	4	5	6
f. 地域住民の子育てに対する協力	1	2	3	4	5	6
g. 地元企業や事業所等の子育てに対する協力	1	2	3	4	5	6

問13 あなたは、子育て支援に関する以下のような取組に参加したことがありますか。だいたい構いませんので、過去1年間に参加／活用した回数（一度もない場合は「0」）をご記入ください。

（「4.」については、活用の有無について、当てはまる番号1つに○をつけてください）

子育て支援に関する取り組み	ご存知の取組に○	過去1年間の参加／活用回数
1. 学校で開催された子育てに関する講座（講義形式）	1	回
2. 学校で開催された子育てに関する講座（体験学習やワークショップなど保護者が主体的に参加できる内容）	2	回
3. 学校で開催された子育てに関する意見交換会・相談会	3	回
4. 学校による子育て関連情報の提供（学校だよりやホームページによる提供）	4	1. 有 2. 無
5. 生涯学習施設や児童館など学校外の施設で開催された子育てに関する講座（講義形式）	5	回
6. 生涯学習施設や児童館など学校外の施設で開催された子育てに関する講座（体験学習やワークショップなど保護者が主体的に参加できる内容）	6	回
7. 生涯学習施設や児童館など学校外の施設で開催された子育てに関する意見交換会・相談会	7	回
8. 子育てに関するシンポジウムやセミナー等（講座よりも規模が大きいもの）	8	回
9. その他（ ）	9	回

問14 問13 で「1」～「3」または「5」～「7」いずれかの参加／活用回数が1回以上ある方のみにお聞きします。それらへの参加／活用を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。
a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
a. 子育てに必要な知識や意欲が高まった	1	2	3	4	5
b. 子育てに対して悩みや不安、孤立感が軽減した	1	2	3	4	5
c. 家族で協力しながら子育てができるようになった	1	2	3	4	5
d. 学校と協力（相談）しながら子育てをするようになった	1	2	3	4	5
e. 地域とつながりを持ちながら、子育てができるようになった	1	2	3	4	5
f. 子育てに関して必要な情報を必要なときに入手できるようになった	1	2	3	4	5
g. 子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになった	1	2	3	4	5

問15 問13 で「1」～「3」または「5」～「7」いずれかの参加／活用回数が1回以上ある方のみにお聞きします。それらへの参加／活用を通じて、お子様が通う学校について、以下のような項目にどのような変化がありましたか。

a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

	1. 良くなった	2. やや良くなった	3. どちらともいえない	4. あまり良くなっていない	5. 良くなっていない
a. 日頃からの子どもについての先生との情報共有	1	2	3	4	5
b. 子どもの教育や子育てに関して悩んだときの相談のしやすさ	1	2	3	4	5
c. 保護者同士の交流の機会や協力関係	1	2	3	4	5
d. 学校と地域住民の交流の機会や協力関係	1	2	3	4	5

問16 あなたの学校や地域の子育てサポートの取組について、要望はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校や地域からの子育てに関する情報を充実してほしい
2. 学校で子育てに関する学習や意見交換ができる機会を増やして欲しい。
3. 学校における子育てに関する学習や意見交換の機会に参加しやすくなるよう、日程や内容を工夫して欲しい。
4. 学校で先生やカウンセラー等と教育や子育てに関する相談ができる機会がもっと欲しい。
5. 学校で保護者同士が交流できる機会や場所がもっと欲しい。
6. 地域で子育てに関する学習や意見交換ができる機会を増やして欲しい。
7. 地域で保護者同士が交流できる機会や場所がもっと欲しい。
8. 多世代の地域住民が交流できる機会や場がもっと欲しい。
9. 子育ての経験のある人や専門家に気軽に相談できる活動や場がもっと欲しい。
10. その他 ()

問17 今後、本市では「家庭教育支援チーム」の設置について検討しています。同チームの設置についてお聞きします。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※「家庭教育支援チーム」とは、身近な地域で子育てや家庭教育に関する相談に乗ったり、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会、地域の情報などを提供したり、ときには、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育をサポートする組織です。

家庭教育支援チームについて	どちらかに○
a. 家庭教育支援チームや相談員による戸別訪問(情報誌の受け渡し程度の内容)があれば利用されますか	1. 利用する 2. 利用しない
b. 家庭教育支援チームや相談員による戸別訪問(子育てに関する相談など、ある程度の時間を要する内容)があれば利用されますか	1. 利用する 2. 利用しない

問18 その他、学校や地域の子育てサポートに関して、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

◆◆◆ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ◆◆◆
 なお、本アンケートは当該目的以外では使用いたしません。